

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-04-01	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	複合施設開設準備費		部課名	地域文化スポーツ部複合施設準備室	課長名	堀	
			担当者名	村木	内線	2256	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-01-01	複合施設建設費					
	01-01-02	複合施設開設準備費					
事務事業の種類	新規事業	（26年度 25年度）	建設事業	それ以外の継続事業			
開始年度	昭和	平成	18年度	根拠			
終期設定	有	無	28年度	法令等	無し		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	09-01	芸術・文化の振興				
目的	以下の三つの機能を融合させた複合施設を、荒川二丁目用地に整備する。 ・大規模な蔵書をもとに、区民の課題解決等と全ての世代の読書活動を支援する図書館機能 ・吉村昭氏に関する資料の収集、研究及び保管を行い、同氏の業績を記念する文学館機能 ・子どもに豊かな遊びや幅広い体験・交流の場を提供する子ども施設機能						
対象者等	区民等						
内容	施設全体 ・施設の建設工事、周辺整備との連携 ・三つの機能を融合させ、これまでの各機能の枠を越えた事業を施設全体として運営する仕組づくり ・複合施設開設に向けた機運の醸成 図書館機能 ・融合施設にふさわしい資料の選定及び調達 ・自動認識技術を活用した蔵書管理方式の導入等サービス向上に向けた検討 文学館機能 ・吉村昭氏に関する資料の収集及び研究 ・展示計画の策定 子ども施設 ・遊具や体験教材の調達						
経過	平成18年 4月 これからの図書館調査懇談会報告 平成18年11月 文学館のあり方に関する懇談会実施の設置（～19年3月） 平成19年 6月 （仮称）吉村昭記念文学館基本構想委員会の設置（～20年3月） 平成20年 7月 （仮称）吉村昭記念文学館推進委員会の設置（～20年3月） 平成21年10月 二丁目用地取得 平成21年11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置 平成23年 7月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定 平成24年 3月 荒川地区都市再生整備計画策定 平成24年10月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本設計及び展示基本設計完了 平成26年 3月 （仮称）荒川二丁目複合施設実施設計完了						
必要性	複合施設の整備により、世代や地域、目的が違う人々が集い、交流と経験の共有を通して、知の集積や発信、新たな知的文化活動の誘発や企画が生まれ、荒川地区はもとより、区内全体の知とコミュニティの醸成を図る。						
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 施設運営等の検討に当たっては、学芸員の資格等を有する専門の非常勤職員を採用して実施するとともに、専門家や関係団体、区民等から幅広く御意見を伺いながら進める。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額		8,740	18,857	100,349	226,947	321,106	2,506,894	
決算額（26年度は見込み）		6,597	8,386	24,284	223,203	179,656	2,506,894	
人件費等		5,701	10,028	12,280	14,044	7,485		
減価償却費			3,341	4,510	5,486	3,042		
【事務分担量】（%）		70	115	145	170	90		
合計（+ +）	0	12,298	21,755	41,074	242,733	190,183	2,506,894	
特定財源					27,916	33,990	112,100	
国								
都								
その他								
一般財源	0	12,298	21,755	41,074	214,817	156,193	2,394,794	
実績の推移	事項名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	関連事業の参加人数（人）							150

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報酬	非常勤職員報酬	0	委託料	実施設計業務委託等	105,184	工事請負費	建築工事費等	2,464,438
共済費	社会保険料	0	財産購入費	用地取得費	72,489	委託料	工事監理等	33,337
報償費	アドバイザー謝礼	211	需用費	消耗品費	1,469	報酬	非常勤職員報酬	2,346
旅費	近接地外旅費	139	旅費	近接地外旅費	316	需用費	消耗品費、印刷製本費	2,269
需用費			報償費	アドバイザー謝礼	195	役務費	商標登録経費	1,269
委託料	基本設計・実施設計	98,725	使用料及び賃借料	会場使用料	3	旅費	近接地外旅費	1,011
備品購入費						負担金補助及び交付金	電柱移設負担金	900

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	関連事業の参加人数（人）				150	300	複合施設の開設に向けた周知イベントの参加者数
	整備の進捗率（％）					40	

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> 複合施設全体の認知度の向上 複合施設のサービスを担う人材の育成 平成28年度の開設に向け、他部署・他機関との調整を行いながらのスケジュール管理
	他区の実況 （実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策		
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
	複合施設の一機能である図書館に関して、資料の調達や自動認識技術を活用した新たな蔵書管理方式の導入に向けて、その準備に取り組む。	資料の調達を行うとともに、自動認識技術を活用した新たな蔵書管理方式を、実際の図書館の事務に適合させるよう、詳細な調整を行う。
	複合施設の開設に向けて、研修等を通じて、職員の意識改革とスキルアップを図るとともに、より効果的な運営体制の在り方について、区民参加等の検討を行う。	開館後の講座やイベントの実施に向けて、詳細な事業内容の検討を進めるとともに、ボランティアの採用に向けた準備を行う。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
重点的に推進	重点的に推進	実施設計の完了を踏まえ、施設の整備を進め、三つの機能が融合した施設の運営体制の構築とともに、施設の開設に向けた機運の醸成を図る必要がある。

（要質問状）	平成21年二定：荒川二丁目用地に建設予定の複合施設について 平成22年三定：複合施設へのアクセスの確保及び周辺の景観形成 平成23年四定：荒川二丁目複合施設の早期実現について 平成24年二定：「融合施設」設置に向けた財政的な負担について 平成26年一定：複合施設の運営について
--------	--

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-04-02	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	(仮称)吉村昭記念文学館推進事業		部課名	地域文化スポーツ部複合施設準備室	課長名	堀	
			担当者名	村木	内線	2256	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード(26年度)	--						
事務事業の種類	新規事業 (26年度 25年度)		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	18年度	根拠法令等	無し		
終期設定	有	無	28年度				
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	09-01	芸術・文化の振興				
目的	郷土を代表する作家・吉村昭氏に関する資料の収集、研究等を行うとともに、同氏の作品等を基盤とした幅広い文化活動を展開することにより、区民の心を育み、区の文化振興に寄与する。						
対象者等	区民等						
内容	吉村昭氏に関する資料の収集、整理、保管及びその研究 展示活動や講演会を通じた、吉村昭氏と同氏の作品の普及啓発 ・ 日暮里図書館吉村昭コーナーミニ展示 ・ 荒川ふるさと文化館郷土学習室「吉村昭の部屋」ミニ展示 ・ 企画展や講演会の開催 文学館の開設に向けた機運の醸成のための友の会の設置や、広報誌の発行						
経過	平成4年5月 吉村昭氏区民栄誉賞受賞 区役所1階で作品展開催 日暮里図書館吉村昭コーナー設置 平成16年4月 区内の各図書館に吉村昭著作コーナーを設置 平成18年7月31日 吉村昭氏逝去 11月 文学館のあり方に関する懇談会設置(～19年3月) 平成19年1月 講演会 6月 文学館基本構想委員会設置(～20年3月) 7月 講演会、企画展 平成20年7月 (仮称)吉村昭記念文学館推進委員会設置 7月 追悼イベント 10月 企画展、講演会 平成21年6月 企画展、講演会 平成22年6月 企画展 7月 講演会 平成23年3月 朗読会、講演会 9月 パネル展 平成24年3月 朗読コンサート 12月 パネル展 平成25年3月 朗読コンサート 平成26年1月 パネル展、講演会						
必要性	吉村昭氏の業績を後世に伝えるとともに、吉村作品を通してさらに広範な文学の世界に触れる機会を広く区民に向けて提供することは、荒川区における文化を深めていくことに寄与する。						
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員) 文学館の開設準備に当たっては、学芸員の資格等を有する専門の非常勤職員を採用して実施するとともに、文学館推進委員会等を通じて、専門家の御意見も伺いながら進める。						

(単位：千円)

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額	19,860	20,694	21,679	11,974	9,531	11,222	19,464	
決算額(26年度は見込み)	14,730	15,672	12,159	5,016	3,612	7,984	19,464	
人件費等	21,822	23,623	25,813	14,950	14,736	15,333		
減価償却費			14,525	11,818	12,263	12,844		
【事務分担量】(%)	400	500	500	380	380	380		
合計(+ +)	36,552	39,295	52,497	31,784	30,611	36,161	19,464	
特定財源								
国								
都								
その他								
一般財源	36,552	39,295	52,497	31,784	30,611	36,161	19,464	
実績の推移	事項名							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
記念事業の参加人数(人)	700	90	89	87	85	78	150	
文学館友の会会員数(人)							300	

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	委員謝礼、講師謝礼	171	委託料	レプリカ製作業務委託等	4,953	報酬	非常勤職員報酬	8,543
特別旅費	調査旅費	418	需用費	消耗品購入、刊行物作成等	1,440	委託料	証言映像記録制作委託等	5,149
一般需用費	消耗品、ポスター印刷等	1,036	備品購入費	自筆原稿購入費等	662	需用費	消耗品、広報紙印刷等	1,864
役務費	所蔵資料保管業務等	270	旅費	近接地外旅費	417	共済費	社会保険料（非常勤）	1,171
委託料	寄託資料データ化委託等	1,646	役務費	所蔵資料保管業務等	286	備品購入費	自筆原稿購入費	972
使用料・賃借料	資料賃借料等	53	報償費	委員謝礼	144	旅費	近接地外旅費	639
備品購入費	自筆原稿購入費等	0	使用料及び賃借料	資料賃借料等	63	役務費	トランクルーム保管料	449

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	記念事業の参加人数（人）	87	85	78	150	300	文学館の開設に向けた周知イベントの参加者数
	文学館友の会会員数（人）				300	450	吉村昭氏の功績や作品を広く周知するための指標

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・文学館の開設に向けて、区民に吉村昭及び吉村文学を周知する必要がある。 ・機運醸成のため、応援団的な組織が必要である。
	他区の実況 （実施 11 区 未実施 11 区 不明 0 区） 文学館設置区 中央区、新宿区、文京区、台東区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、杉並区、北区、練馬区

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
複合施設の一機能である吉村昭記念文学館の開設に向けて、その情報を全国に発信していくとともに、吉村氏の功績を広く周知していくため、文学館友の会のような賛助組織を設ける。	文学館の認知度の向上と、区内の機運の醸成を図るため、友の会普及活動及び記念事業を実施する。
展示実施設計の完了を踏まえ、常設展示で実際にパネルや映像として使用されることを念頭に、他の自治体や関係者の協力を得ながら、幅広く関連の資料や証言等を収集し、その研究を行う。	文学館の常設展示の内容を詳細まで固めるとともに、文学館の開設にあわせて実施する予定の企画展示等の内容を検討する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
重点的に推進	重点的に推進	広く区民に対して、吉村昭という作家と、その作品の紹介を継続して行うことにより、文学館の開設に向けた区内の機運の醸成を図る。

（重要質問）	H18一 定：吉村昭氏の記念文学館あるいは図書館併設の記念文庫をつくってはどうか H18三 定：記念館の設置を要望する H23四 定：文学館開館に向けた事前周知について H26予 特：文学館の応援団について
--------	--